

2024年度講義内容一覧表(土木)

講義日	講義会場	時間	講義順コード	カリキュラムコード	講義概要	初級/中級レベル区分	講義区分※	講師(所属)
9/18 (水)	エッサム神田ホール 2号館601号室	13:10 ~ 14:40	1	DO3	橋梁計画 橋梁計画で検討を必要とする事項、設計計算書に記載を必要とする事項、橋梁計画の手順(橋長・支間割・橋梁形式・構造の決定要領)、発注者・設計者・施工者の役割	初級	1	鈴木 泰之 (株)建設技術研究所 東京本社 技術統括部 ブルーエンジニア
		15:00 ~ 16:30	2	DO5	土木インフラのリスクマネジメント データサイエンスとリスク評価(フォルト・ツリー分析) EBPMに基づくリスクマネジメント リスクマネジメントの視点からの目視点検	初級	1	貝戸 清之 大阪大学大学院 工学研究科 地球総合工学専攻 社会基盤 マネジメント学領域 教授
9/24 (火)	エッサム神田ホール 2号館601号室 (ハイブリッド講義)	13:10 ~ 14:40	3	D15	インフラDXとモニタリング ・モニタリングとDX 各種センシング/測位技術 ・AI/データプラットフォーム/三次元モデル ・UAV・ロボット等の利活用	中級	2	阿部 雅人 (株)ベイスコンサルティング
		15:00 ~ 16:30	4	D11	製作全般 原寸 野書 切断方法 加工 組立 溶接施工管理 仮組立 輸送 設計・製作の自動化・省力化 品質管理	初級	1	村上 貴紀 宮地エンジニアリング(株) 千葉工場 技術研究所 所長 生産技術グループ グループリーダー
10/1 (火)	アミノ酸会館 地下会議室 (ハイブリッド講義)	13:10 ~ 14:40	5	D13	品質管理 ・世界工業技術の三大失敗 ・近年の国内外での品質トラブル・事故事例に学ぶ ・リスク管理ー思考停止、マニュアル病、失敗は伝わらないー ・想定外を克服して「製品品質」から「技術品質」へ	初級	1	佐藤 浩明 (一財)橋梁調査会 北陸支部 調査役
		15:00 ~ 16:30	6	D17	座屈設計と鋼構造 限界状態設計法,部分係数設計法,座屈設計など	中級	2	松村 政秀 熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 教授
10/2 (水)	アミノ酸会館 地下会議室	13:10 ~ 14:40	7	D20	特別講義2 AI(人工知能)の基礎と将来展望 AI(人工知能)の基礎と将来展望についての解説 AIの基礎としてAIの歴史,AIの基礎的事項についての説明, 今までに開発された種々のAIの手法の紹介 現在AIで最も有望な技術と言われている深層学習 (ディープラーニング)について簡単な例を用いての詳細な説明等	初級	3	古田 均 大阪公立大学 特任教授
		15:00 ~ 16:30	8	D19	特別講義1 電力鋼構造物の設計と維持管理 ・電力構造物(水門扉,水圧鉄管,送電鉄塔)の概要 ・設計・維持管理の基本と構造解析技術等の活用 ・性能照査型設計体系への移行見通し ・大規模自然災害への対応	中級	3	山本 広祐 (一財)電力中央研究所 サステナブルシステム研究本部長
10/8 (火)	アミノ酸会館 地下会議室	13:10 ~ 14:40	9	DO2	鋼製基礎・鋼管杭	初級	1	津嶋 敏明 (一社)鋼管杭・鋼矢板技術協会 JFEスチール(株) 建材技術部 土木技術室長
		15:00 ~ 16:30	10	DO1	鋼材の基本特性,橋梁用高性能鋼の紹介など 鋼材性能 高性能鋼 橋梁用高降伏点鋼板 SBHS	初級	1	高木 優任 (一社)日本鉄鋼連盟 橋梁用鋼材研究会 日本製鉄(株) プロジェクト開発部 プロジェクト開発技術室長
10/15 (火)	エッサム神田ホール 2号館601号室 (ハイブリッド講義)	13:10 ~ 14:40	11	DO8	構造物の設計のための振動の基礎知識 1自由度系と多自由度系の振動と動的現象の周波数分析 および固有振動特性と減衰特性	初級	1	矢部 正明 (一財)首都高速道路技術センター 上席研究員
		15:00 ~ 16:30	12	DO9	耐震設計・免震設計・制震設計 構造物を設計する上で知っておきたい地震動特性と 耐震・免震・制震設計を行う上での留意事項および 地震被害から学ぶべき事	中級	2	
10/16 (水)	エッサム神田ホール 2号館601号室	13:10 ~ 14:40	13	D12	高力ボルト接合	初級	1	山口 隆司 大阪公立大学大学院 工学研究科 都市系専攻 橋梁工学研究室 教授
		15:00 ~ 16:30	14	DO4	設計基準 技術基準類の体系,H29道示の設計法のポイント、 今後の設計法の展望	中級	2	村越 潤 東京都立大学大学院 都市環境科学研究科 都市基盤環境学域 教授
10/22 (火)	エッサム神田ホール 2号館601号室 (ハイブリッド講義)	13:10 ~ 14:40	15	D10	複合構造 概説 基本原理 合成床版 複合橋梁と設計 合成桁の設計 海外基準 AASHTO LRFD,ECと道示の違い AASHTO LRFD設計計算例 AASHTO LRFR(維持管理設計法)	中級	3	奥井 義昭 埼玉大学大学院 理工学研究科 環境科学・社会基盤部門 教授
		15:00 ~ 16:30	16	D14	鋼構造の維持管理 鋼橋の損傷・劣化、点検・健全度診断 維持補修・補強、インフラマネジメント	初級~ 中級	1	高木 千太郎 アイセイ(株) エキスパートアドバイザー (一社)日本構造物診断技術協会 顧問
10/29 (火)	アミノ酸会館 地下会議室	13:10 ~ 14:40	17	DO6	疲労設計 鋼構造物の疲労損傷事例 疲労試験とS-N曲線 耐久性の評価方法 疲労強度向上法	初級	1	山田 健太郎 名古屋大学 名誉教授 中日本ハイウェイエンジニアリング名古屋(株) テクニカルアドバイザー
		15:00 ~ 16:30	18	DO7	・鋼橋の耐震・制震設計に関するQ&A ー大震災から如何に学んできたか ・現行の耐震・制震設計の高度化に対する課題	中級	2	葛漢彬 名城大学 理工学部 社会基盤デザイン工学科 理工学研究科 社会基盤デザイン工学専攻 教授
10/30 (水)	アミノ酸会館 地下会議室 (ハイブリッド講義)	13:10 ~ 14:40	19	D16	鋼橋架設技術 各種架設工法とその選定、架設計画時の工法別留意点 架設時の不具合事例・事故事例、安全対策	中級	2	大下 嘉道 三井住友建設鉄構エンジニアリング(株) 建設本部 西部工務部 主管
		15:00 ~ 16:30	20	D18	鋼、合成桁橋の火災に対する対応について 社会インフラに対する火災の恐ろしさ(事例紹介) 鋼、コンクリートの高温時、加熱冷却後の常温時強度 熱履歴を受けた頭付きスタッドのずれ性状、合成桁の耐荷力 熱履歴を受けた橋梁の被災度判定 など	初級	1	大山 理 大阪工業大学 工学部 都市デザイン工学科 教授

※1 日程は、都合により変更する場合があります。

※2 希望者が一定人数に満たない場合は、中止することもあります。

※3 講義時間は全て1時間半です。

※4 灰色網掛けの講義は対面とオンラインのハイブリッド型式で行います。

※講義区分

1: 新人研修用プログラム

2: 中堅技術者への技術の伝承を主眼とするプログラム

3: 海外志向、展開を促すプログラム